

<第5回福岡アートアワード>アーティスト募集開始します！

福岡市内で活動をおこない、今後飛躍が期待できるアーティスト(美術作家)を対象に、作品の買い上げをもって贈賞する「福岡アートアワード」は、アーティストを支援するとともに、買い上げた作品を福岡市美術館の所蔵品として収集・展示・活用することで、福岡市にアーティストが集まり、質の高い作品の展示や市民がアートに親しむ機会を創出し、福岡市が彩りにあふれたアートのまちとなることを目指すものです。

この度、<第5回福岡アートアワード>の候補者募集を開始いたします。
広報周知にご協力たまわりますようお願い申し上げます。

賞の種類

◆市長賞 1名 ◆優秀賞 若干名

募集内容

■賞の対象 ※下記の両方を満たすこと

(1)過去2年(令和6年9月から令和8年8月)の間に、福岡市内で、展覧会、アートフェアなどへの出品、レジデンスへの参加、アート・プロジェクトの実施など、1つ以上の活動をおこなったもの。

(2)過去5年以内に制作した、福岡市美術館が買い上げ可能な作品を有するもの。

■募集期間

令和8(2026)年7月1日(水)から8月31日(月)まで

■応募方法

本日より右記の二次元バーコードのサイト

(<https://fukuoka-art-next.jp/faa>)からダウンロードできます。

詳細は本サイトに掲載いたします。



福岡アートアワード
二次元バーコード

選考委員

次頁をご参照ください。

発表

受賞者、買上作品は、令和9年2月下旬に発表予定です。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当:ラワンチャイクン、渡抜

TEL:714-6054 FAX:714-6145 e-mail:watanuki.y01@city.fukuoka.lg.jp

<第5回福岡アートアワード> 選考委員

くらや みか

蔵屋 美香(横浜市美術館 館長)

千葉県生まれ、千葉大学大学院修了。東京国立近代美術館(以下MOMAT)勤務を経て、2020年より現職。主な展覧会に、「めぐ絵画—日本のヌード1880-1945」(2011-12、MOMAT、第24回倫雅美術奨励賞)、「Koki Tanaka abstract speaking: sharing uncertainty and other collective acts」(2013、第55回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館、特別表彰)、「高松次郎ミステリーズ」(2014-15、MOMAT、共同キュレーション)、「没後40年 熊谷守一:生きるよろこび」(2017-18、MOMAT)、「おかえり、ヨコハマ」(2025、横浜美術館)等多数。京都大学経営管理大学院および多摩美術大学客員教授。



のなか あきら

野中 明(広島市現代美術館 副館長)

1969年福岡市生まれ、九州大学文学部卒業。米子市美術館、長崎県美術館勤務を経て2021年より現職。主な展覧会に、米子市美術館での「井田勝己—内なる記憶」(1997)、長崎県美術館での「舟越保武—かたちに込める祈り」(2008)、「ダニ・カラヴァン展」(2008)、「菊畑茂久馬回顧展戦後／絵画」(2011、第23回倫雅美術奨励賞)、「スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」(2015、第11回西洋美術振興財団賞)、「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」(2019)、「青木野枝 ふりそそぐものたち」(2019)など。



ほりかわ りさ

堀川 理沙(ナショナル・ギャラリー・シンガポール、キュレトリアル&コレクションズ ディレクター)

1978年米国ミシガン州生まれ。九州大学大学院修士課程修了。専門はアジア近現代美術史。2002-2003年中国ロング・マーチ・プロジェクトに関わる。2003-2012年福岡アジア美術館、2012年よりナショナル・ギャラリー・シンガポールに勤務し、2021年より現職。主な企画展に、同館での「Between Declarations and Dreams: Art of Southeast Asia since the 19th Century」(2015)、「Reframing Modernism: Painting from Southeast Asia, Europe and Beyond」(2016)、「(Re)Collect: The Making of Our Art Collection」(2018)など。

